

『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』の最終回結末に関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』の最終回結末に関するアンケート調査
調査対象	『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』を読んだことのある10代～50代の男女5名
調査期間	2026年2月7日～2026年2月8日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/seizyonoanegasutetamotokonyakusya/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』の最終回の結末を予想してください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	1人
30代女性	1人
40代男性	0人
40代女性	2人
50代男性	1人

50代女性

0人

Q2:『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』の最終回の結末を予想してください。

フィリアの報われない生い立ちから考えれば、最終的にはハッピーエンドに落ち着く可能性が高いでしょう。現時点ではメイナードにかかった呪いやメイナードとの関係性が問題となっていますが、鍵の一つとなりそうなのがフィリアの従事している研究。この研究がメイナードを救うポイントとなるのではないのでしょうか。そしてメイナードとの距離も徐々に縮まっていき、二人は幸せに結ばれるでしょう。そしてもう一つ気になるのが姉の聖女・アンジェリカと両親。フィリアをモノとしてしか見ていなかった彼女たちですが、欲にまみれた行動がいつまでもうまく行くはずがありません。恐らくどこかで失脚し、幸せになったフィリアとは比べるべくもない、不幸な結末を迎えると思います。

『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』の最終回では、フィリアのおかげで呪いが解けてメイナード様は元気になり、再び騎士として活躍できるようになると思います。それによりフィリアは聖女だと言われるようになるのではないのでしょうか。そしてその反面、アンジェリカは聖女と呼ぶには相応しくない性格が人々に知られてしまい、落ちぶれてしまうと予想します。

メイナードの呪詛は完治し、フィリアが聖女として認められて二人は幸せな結婚生活を送るようになるという終わり方だと思います。姉のアンジェリカは回復魔法に優れていただけの女性であっただけだと証明されることとなり、姉妹の力関係も逆転しそうです。

なろう原作なので、なろうの方を読むとなんとなくの予測が付くかと思います。気になって読みに行ってしまいましたが、幸せに両想いになって完結という形なので、やはり、絵的にプラスαがあるのではないかとサプライズを期待しています。復讐物の最終回のお約束としてお子さんがいて成長してて幸せに囲まれて、というものではないでしょうか？

呪いの黒い痣のせいで聖女の姉に捨てられたわけですが、呪いがとけてもう一度美しい顔が戻ってくるでしょう。そうすると再び姉はアタックしてくるかもしれませんが、そもそもは私の婚約者だったのだからとか言いがかりをつけるのでしょうかずっと献身的に尽くしていたのはフィリアです。なので彼女との愛を貫きましょう。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス